

一般質問(2)



ひばりヶ丘駅南口(住吉町3丁目)

空き家対策に向けた体制づくりを  
登下校時の安全対策強化を求める

田代 伸之(公明)

**質問** 空き家の課題解消へ、責任部署を明確にすべき。  
**答弁** 担当部署、体制を檢

**質問** 討、組織連携強化に努める。  
**質問** 特色ある公園づくりを推進するため、公園の基

**答弁** 本計画を策定す

**答弁** 公園の利

**質問** 用状況の把握、

**質問** 近隣市の状況な

**答弁** ど調査研究して

**答弁** 生活困窮

図書館・公民館は駅前に残せ！  
庁舎統合に大金をかけるな！

森 てるお(無所属)

**質問** 庁舎統合の暫定案が示された。平成25年の基礎調査報告書では、田無庁舎案以外は中央図書館・田無公民館・市民会館を田無庁舎に移転するとしている。

**答弁** この場合3館合築は必要がない。建設費用・費用対効果はどうなるのか。

**質問** 3館の田無庁舎移転案は庁舎統合が前提。3館合築は行革推進委員会の提言で、公共施設の総量抑制のために進めている。庁舎統合を前提とした案との比較は行っていない。

**質問** 行革委の議事録を見ても、行政が3館合築をどう説明したのかわからない。田無庁舎への移転では29億

円で十分な広さが確保できない。今の3館合築案は43億5千万円。合築は無駄遣い。また、質問の「駅に近くない図書館・公民館もある」との説明については。

**答弁** 暫定案は他の統合案と単純に比較検討するためのものでなく当面の方策だ。また、駅前に図書館をつくると定めた経緯はない。意見 合築案では先行して3館を移動する。駅が1つの旧田無市は、公民館・図書館を駅前に作った。旧保谷市は4駅4館構想という歴史がある。駅から離れた館の利用率は低迷する。使われない施設は宝の持ち腐れだ。もう一度議論をやり直せ。

子どもから高齢者まで、暮らし続けられるまちづくり

大林 光昭(公明)

人口減少・高齢化を見据えたまちづくり

**質問** 総合戦略策定へ、まちづくりの考え方を問う。

**答弁** 若い世代への支援、時代に合った地域づくりを

進めていくことが必要。

**意見** 図書館・公民館は、市内の配置バランスや機能等に関し市民意見をもとに議論して配置場所の決定を。

**質問** 高齢化を見据え、オンラインデマンド交通やNPO法人・住民団体との協働による移動支援を検討すべき。

**答弁** 提案を踏まえて、外出支援を検討していく。子育てしやすいまちづくり

**質問** いじめ防止に向けて、条例制定などの体制やルールの整備を行うべき。

**質問** 認知症高齢者の早期発見は「疑われる人への気づき」が重要。市の計画は「気づき」の視点が欠け早期発見とは言いがたい。特に独居高齢者の変化は見過ぎされやすい。看護師が常駐するデイサービスを認知症予備軍の早期発見モデルと位置づけ、「気づき」を診断に繋げるようにすべき。見解を問う。

**市長** 予防や早期発見、認知症高齢者を見守り支援する地域づくりなど、提案の部分も含め検討していく。

**質問** 小中学校内に設置のAEDは、心疾患や不整脈による心停止リスクが高い高齢者等の地域住民が使える状況にない。地域で暮らし高齢者が増えていく中で、屋外設置にする方針転換が必要と考えるが見解を問う。

**教育部長** AEDは学校内

条例策定に向けた調整とともに、パブリックコメントの実施を検討する。

**質問** 妊娠・出産・子育ての切れ目ない支援のため、子育て世代包括支援センター設置の取り組みを問う。

**答弁** 国・都の情報や他団体の動向などを注視する。

**質問** 電子黒板やタブレット端末を導入し、学校教育環境を充実すべき。

認知症早期発見に気づきの視点を  
超高齢社会のAED設置のあり方

藤田 美智子(公明)

**質問** 認知症高齢者の早期発見は「疑われる人への気づき」が重要。市の計画は「気づき」の視点が欠け早期発見とは言いがたい。特に独居高齢者の変化は見過ぎされやすい。看護師が常駐するデイサービスを認知症予備軍の早期発見モデルと位置づけ、「気づき」を診断に繋げるようにすべき。見解を問う。

**市長** 予防や早期発見、認知症高齢者を見守り支援する地域づくりなど、提案の部分も含め検討していく。

**質問** 小中学校内に設置のAEDは、心疾患や不整脈による心停止リスクが高い高齢者等の地域住民が使える状況にない。地域で暮らし高齢者が増えていく中で、屋外設置にする方針転換が必要と考えるが見解を問う。

**教育部長** AEDは学校内

条例策定に向けた調整とともに、パブリックコメントの実施を検討する。

**質問** 妊娠・出産・子育ての切れ目ない支援のため、子育て世代包括支援センター設置の取り組みを問う。

**答弁** 国・都の情報や他団体の動向などを注視する。

**質問** 電子黒板やタブレット端末を導入し、学校教育環境を充実すべき。

**答弁** 提案を踏まえて、外出支援を検討していく。子育てしやすいまちづくり

20万都市西東京市にふさわしい文化ホールのあり方を検討せよ！

佐藤 公男(公明)

20万都市のホールとは？

**質問** こもればホール、市民会館、コールドホールには小さなホールが4つ存在する。当市にふさわしい規模の文化ホールはどうあるべきか。

**答弁** 今後調査研究する。

**意見** 長期的視点に立つならば当市には1千人規模のホールが必要で、その方針が決まらないと3館合築の話に入れないのではないか。

**質問** ひばりアム北側道路の拡幅は行わないのか。

**答弁** 平成27年度中に行う。西原町空白地域にバスを！

**質問** 西原町の交通空白地域解消のため、3・4・26号線が新青梅街道に接続さ

れた段階で、民間バス路線ルートを見直すべきである。

**答弁** 空白地域解消を目指しバス事業者と調整する。自転車走行環境の整備を！

**質問** 道交法の改正により自転車マナーのさらなる向上も重要だが、自転車の走行環境整備も必要。六角地藏通りの片側路側帯を両側路側帯に変更すべきである。

**答弁** 田無警察と協議する。中原小も使用するひばりが丘中新校舎に給食室を！

**質問** 中原小の建て替え中に(仮称)第10中を仮校舎として使用する間の給食の提供はどうするのか。

**答弁** 安全で安心な給食の提供を最優先で検討する。

**質問** 財政が悪化している。行財政改革を断行せよ。

**答弁** 当面は厳しい、平成27年度から3年間で40億円の財政効果額を目指す。

**質問** 総量抑制から見た3館合築の考えは。

市民の声に答える市政運営を！  
南町地域の交通不便を解消せよ！

小幡 勝己(公明)

性のある教員を確保せよ。

**答弁** 都に要望する。

**質問** 小中一貫校の設置も含めた検討の方向性を示せ。

**答弁** 小中一貫教育の導入を見据えて取り組む。

**質問** 南町・柳沢地域の買い物弱者、移動困難者対策の検討状況を。

**答弁** 庁内が連携し、地域公共交通会議でも検討する。

**質問** 商店街の街路灯LED化に市が補助すべき。

**答弁** 平成28年度よりLED化への支援を実施する。

**質問** 北原西交差点の横断歩道の確保と、北原交差点の所沢街道停止線を下げる。

**答弁** 東京都及び田無警察署に要望を伝える。

